

「感じ」「動き」「かわる」…子どもも学校も、さらに一步前へ！



さくらの学校だより

平戸市立田平東小学校 学校だより 令和8年7月13日 文責：校長 森川 稔



暑くなってきました

一学期も最終週になりました。先週、平年より10日ほど早く梅雨明けし、セミの鳴き声とともに夏がやってきました。

気温や湿度も一気に上がり、室内では空調で学びの環境づくりをしていますが、登下校や外遊びについては、熱中症予防の観点から必ず帽子着用と、水筒持参（十分な水分補給）について、ご家庭の協力をお願いします。

昨年度お知らせしましたが、昨今の気温上昇（温暖化）による熱中症予防の観点から、お子さんの命を守ることを、安心安全な学校生活を最優先に考え、再度学校としての考えをお伝えします。

【お子さんの登下校時】

- ・日傘や首元を冷やすネッククーラー、保冷剤の使用はご家庭の判断にお任せします。

〈日 傘〉

- ・日傘は軽量で安全性の高いもの（硬い金属や鋭利な部分がないもの）
- ・児童の体格や登下校中の視界確保、周囲への配慮のため、サイズはコンパクトなもの（60cm以内が目安）を推奨
- ・日傘使用時も黄色い帽子は着用し、歩道の広さや人通りの状況を見て、安全に配慮しながら使用
- ・周囲への安全面から集合場所や通学路途中での傘の開閉はしない
- ・学校到着後は傘をたたみ、傘立てに立てたり、折りたたみタイプはランドセルに入れたりし、校内では使用しない
- ・周囲の児童への配慮の観点から、過度に派手なデザインやキャラクターものは避ける

〈ネッククーラー・保冷剤など〉

- ・登校後は、児童自身で管理する
- ・扇風機形や小型扇風機は使用しない
- ・校内では使用しない



がんばり、成長した姿を共有したいです

「みなさんが、この一学期にがんばったこと、できるようになったこと、成長したと思うことは何ですか？」そう聞くと、子どもたちからはどんな答えがかえってくるでしょうか。

学期末にあたり、先生方は通知表作成や夏休みの学習計画の準備等で大忙しです。毎年書いていることですが、今回も終業式の日担任の先生からコメントとともに手渡される通知表について…



通知表は、伸ばしたいところや補いたいところをお伝えし、ご家庭と協力して今後の指導に活かすためにあります。学力で子どもを序列化するものではありません。「よくできる」の数ばかり気にする子や、逆に全く気にしない子など様々ですが、学校としては学力



も人格の大切な一部分と考えています。つまり、学習の様子・生活の様子・からだの様子(出欠の記録や以前配付した「のびゆくからだ」)は、どれも大切な「生きる力」を育てる視点と考えています。

「氷が溶けたら何になりますか？」という問いに「春になります」とにこやかに答えた子どもがいたら、どう評価されるでしょうか？ 理科では間違いでも、想像力や表現力の豊かさは「十分満足できる」だと思えるのです。ところが通知表では、そんな子どものよさを評価する項目がありません。そこで、所見の欄が必要になります。○や△の記号で表せない子どもの特性を文章でお伝えしています。でも、150～200字程度の文字数ではそれもといては難しく、先生方は悪戦苦闘しています。前述のように一人一人のがんばり、成長を伝え、共有したいのですが、子どものよさを上手く伝えられないジレンマで、時には押しつぶされそうになります。

田平東小学校では、通知表を、子どもを励ますメッセージにしたいと考えています。ですから、通知表の返信欄(家庭から)には、どんな些細な事でも構いませんので、我が子のよさを十分にアピールして下さい。

2学期はじめには、子どもたちに再度通知表を振り返らせ、ご家庭と先生からのメッセージをもとに目標を考えさせようと思えます。通知表がきっかけになって、今まで気づかなかった子どものよさを、ご家庭と学校が一緒になってたくさん引き出せたらいいなと思います。

なお、通知表の見方については、最終ページに記載しますのでご覧ください。ご理解とご協力をお願いします。

いいところある
じゃない



クリーンセンター、町民センター見学

3年生は田平町中央公民館の社会科見学に行きました。今回は学校の前を通っているMR松浦鉄道を利用して行きました。列車の中では、車掌さんも他のお客さんも子どもたちを笑顔で迎えてくださり、子どもたちはふかふかの椅子に座り、中田平駅～たびら平戸口までの旅を楽しみました。



田平町中央公民館では、館長さんから公民館のお仕事や役割、イベントや講座についてもたくさん教えていただきました。公民館は「まちの家のリビングのような存在でありたい。子どもから大人までがほっとする場所にしたい」というお話がとても心に残りました。

また、4年生も北松北部クリーンセンターを見学しました。説明の中で、田平町ではごみの量が増えていることや、集められるごみの多くが「燃やせるごみ」であることを教えていただき、子どもたちは身近なごみ問題について耳を傾けていました。見学を通して、ごみを処理することの大変さや、ごみを正しく分別することの大切さを学ぶことができました。これからの生活の中でも、一人一人がごみの減量や分別を意識し、環境を守る行動につなげていってほしいと思います。



田平東小HPはこちらから→

